

課題を抱える青少年を支援する体験活動事業 おおすみくん家に遊びに来ませんか！！（全5回）

- 1 趣 旨 不登校及び不登校傾向にある小・中・高校生が自然体験・生活体験等を通して、
野外活動の楽しさや人との触れ合いの大切さを知る。
- 2 日 時 ①令和4年 6月18日（土） 10:00～12:00
②令和4年 9月 3日（土）
③令和4年10月15日（土）
④令和4年11月19日（土）
⑤令和5年 1月21日（土） 全5回
- 3 対 象 者 小・中・高校生（不登校及び不登校傾向の児童生徒）
- 4 募集定員 各回20人程度
- 5 参 加 者 ①小学生 2人 中学生 2人 保護者 6人 計10人
②小学生 1人 中学生 1人 保護者 3人 計 5人
③小学生 8人 中学生 4人 保護者 9人 計21人
④小学生 5人 中学生 5人 保護者11人 計21人
⑤小学生 2人 中学生 3人 保護者 4人 計 9人
- 6 指 導 者 鹿児島県教育庁高校教育課 学校教育生徒指導班
鹿児島県教育庁高校教育課 スクールカウンセラースーパーバイザー
国立大隅青少年自然の家職員

7 活動内容

回	活動内容（活動場所）
①	ゴムボートでの海釣り・どんぐりクラフト(新城海の家), 懇談会
②	焼き板(ロビー), 懇談会
③	カヌー(新城海の家), 懇談会
④	ピザ作り(本館クラフトA), 懇談会
⑤	ウッドバーニング(学習室)・モルック(コミュニティールーム), 懇談会

8 事業運営上の配慮

- 自分だけで楽しむ活動や他者との関わりのある活動を設定して、子どもが参加しやすいようにした。
- 時間配分は、子どもの活動の進捗に合わせて柔軟に対応した。

9 参加者の感想

(1) 子ども

- 魚が一匹しか釣れなかったから、また釣りをしたい。
- 人とふれあうのが楽しかった。
- 初めて木に絵をかいたので、どんなになるか楽しかった。
- 家ではできない体験が多いから楽しい。
- 自分で物を作る楽しさを知った。

(2) 保護者

- 学校とは違う表情が見られ、またどんなことに興味を持っているかを知るいい機会でした。
- 子どもが家以外で、楽しく過ごせる場所があればいいと思います。
- 作業する中で、子どもとの会話がしやしくなり、楽しくできた。
- 遊びの中で色々なことを吸収してくれたらうれしいです。

10 成果

- まれにとまどいを見せる児童生徒がいたが、時間が経過するにつれて楽しく活動ができた。
- 懇談会は、保護者の悩みを共有できる貴重な機会となった。